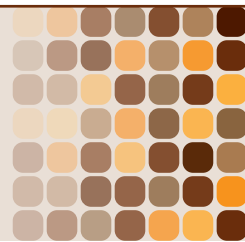




ポート・ヒロックで暮らす

LIFE IN PORT-HILLOCK

ご入居の方のインタビューや生活の様子をご紹介します



こちらは私にとって素晴らしい「学校」です。

<介護棟にご入居の富田様のインタビュー記事をお伝えします>

入居されたきっかけを教えてください

16年前に妻を亡くしてから1人暮らし。庭の手入れや家庭菜園を楽しんだり元気に過ごしていました。ところが、自宅での転倒をきっかけに入院・手術と生活が一変しました。元々、子供達の世話にならないように安心して住める施設を探そうと考えていましたので、これを機に息子に施設を探してもらいました。

手術を担当していただいた整形外科の先生が*海邦病院にお勤めでしたので、ご縁がありました。今も継続して同じ先生に診察していただいています。

*ポート・ヒロックの母体病院



富田 様 (87歳)

2016年、沖縄県豊見城市よりご入居された、前向きで社交的な富田様。インタビューでは得意の英語を交えたり、ハーモニカを披露したり、「人生、全てが勉強」と向上心を持って意欲的に生活されています。

入居して良かった事

こちらは私にとって素晴らしい「学校」です。誕生祝いやお祭りなどのイベントで職員の皆さんやボランティアの方々が披露してくださるパフォーマンスからたくさんの事を学ぶことができます。初めて「ふるさと」という曲を聴き感動し、職員が他の入居者と楽しそうに楽器を演奏する様子を見て、「勉強したい」という気持ちが湧き、息子にハーモニカを買ってもらい独学で会得しました。

若い頃は戦争・戦後でろくに「勉強」する事が出来ませんでしたので、私にとって生活の中で常に「学ぶ」ということの大切さが身に染みしています。現役時代も常に「仕事から学ぶ」事を忘れず、こちらに入居してからは職員や他の入居者からたくさん学ぶ事が出来ます。日々の生活を見てくれる職員の皆さんや食事の管理をして下さる方々みんなに感謝しています。

今の生活について

英会話の勉強になればと、主にアメリカのラジオ放送を聴いて過ごしています。元々、英語で仕事をしていたのですが、引退後は使う機会もなくなり忘れてしまっていて……。目標はネイティブスピーカーの方とお話をする事です。また、こちらに来てから始めたハーモニカの練習も欠かせません。

本が多くテーブルが手狭になってきたので、そろそろ参考書が広げられる机が欲しいです！



ゆとりある、くつろぎの空間で、心豊かに

ポート・ヒロックには同建物内に一般棟と介護棟があります。全室個室の介護棟は24時間体制の看護・介護、他施設と比べ職員の配置を多くしていることがポート・ヒロックの介護棟の特長です。

やりがいや生きがいを見つけたり、同じ趣味を持つご入居者との交流やイベントなど、ご入居者はゆったりとした環境で日々を心豊かに過ごしていただけます。

ご入居について詳しくは入居相談員までどうぞお気軽にお問い合わせください。